

(1) ごみ減量の取り組み

方向性	安全で安定的なごみ処理体制を維持するため、現在、整備が進められている新ごみ処理施設の稼働に向けて、ごみ処理基本計画に定めるごみの減量目標を達成できるよう、取り組みを進めます。
取り組み	<p>ごみ処理基本計画に定めるごみの減量目標は、新ごみ処理施設における安全・安定的なごみ処理を行う条件の一つでもあることから、紙類等のごみの資源化を促進するため、令和元年度(2019年度)から自治会等による集団回収に加え、新たに古紙(新聞紙、段ボール、雑誌・雑がみ等)の行政分別回収を実施します。また、生ごみの発生抑制のため、「食べのこサンデー」運動のロゴマークを活用した情報発信を行います。</p> <p>《目標値》 ごみの焼却量：94,483 t 平成31年度当初予算：1,100千円</p>

9月末の  
進捗状況  
【〇】

令和元年(2019年)6月3日から古紙(新聞紙、段ボール、雑誌・雑がみ等)の行政分別回収を実施しました。  
新たに「食べのこサンデー」運動のロゴマークを活用したマグネットバーを3,000本作成し、情報発信を行いました。

(2) 地球温暖化対策の推進

方向性	地球温暖化防止に向けて、市民・事業者・行政が一体となり、総合的かつ計画的に施策を推進します。
取り組み	<p>令和元年度(2019年度)は、「COOL CHOICE」の趣旨を広く市民に周知し、日常での温暖化対策の取り組みを推進することで、本市域の家庭部門から排出される温室効果ガスを削減します。また、本市の地球温暖化対策実行計画に基づいて作成した「環境ポータルサイト」で、最新の温暖化対策情報を広く発信し、多くの市民が温暖化対策に取り組めるよう周知します。</p> <p>大型太陽光発電設備の稼働による売電収入を、市の省エネルギー・省CO2対策に引き続き活用し、地球温暖化対策に関する取り組みを推進します。</p> <p>《目標値》 公共建築物における太陽光発電量：1,155kW 「COOL CHOICE」の趣旨への賛同数：2,170人 平成31年度当初予算：8,531千円</p>

<b>9月末の 進捗状況</b> 【○】	緑のカーテンモニターやクールダウン・枚方～みんなで打ち水大作戦～等の参加者に「COOL CHOICE」の取り組みを周知し、485人から賛同を得ました。今後も引き続き、イベント等での「COOL CHOICE」の普及・啓発に取り組みます。そのほか、市ホームページの「環境ポータルサイト」を適宜更新し、最新の温暖化対策情報を広く発信しました。 また、4月～9月の大型太陽光発電設備の稼働による発電量は、431,912kWhでした。
-----------------------------	---

(3) 可燃ごみ広域処理施設の整備	
方向性	枚方京田辺環境施設組合において、同組合による可燃ごみ広域処理施設の整備を進めます。
取り組み	枚方京田辺環境施設組合による環境影響評価のほか、可燃ごみ広域処理施設の円滑な整備に向け、引き続き、京田辺市と連携しながら、取り組みを進めます。 平成31年度当初予算：107,589千円

<b>9月末の 進捗状況</b> 【○】	枚方京田辺環境施設組合において実施している環境調査において、京都府の絶滅危惧種であるオオタカの生息が確認されており、京都府から指示を受けた追加調査（周年調査：第2繁殖期）を終え、オオタカの生息環境の保全方法の検討に向け、その結果の分析を行っているところです。
-----------------------------	---

(4) 第3次枚方市環境基本計画の策定に向けて	
方向性	第2次枚方市環境基本計画が令和2年度（2020年度）に計画期間が満了することから、次期計画の策定に向けた基礎調査や計画内容の検討に取り組みます。
取り組み	第3次枚方市環境基本計画の策定に向けて、市民・事業者アンケート調査を実施するとともに、SDGs(持続可能な開発目標)や生物多様性地域戦略、環境教育・環境学習指針の考え方を盛り込みながら、計画内容の検討を進めます。 平成31年度当初予算：6,952千円

<b>9月末の 進捗状況</b> 【○】	第3次枚方市環境基本計画の策定に向けて、7月から8月に市民・事業者アンケート調査を、9月に市内高校生を対象としたワークショップを実施しました。今後も引き続き、計画策定に向けて取り組みを進めていきます。
-----------------------------	--

### (5) 空き家・空き地対策の推進

方向性	枚方市空家等対策計画や法・条例に基づき、空き家・空き地の適正管理を促進します。また、管理不良な空き家・空き地の所有者等に対し、適切な指導等を行います。
取り組み	土地・建物の所有者等に対して、空き家・空き地の適正管理等の情報提供等を行うとともに、協定を締結した NPO 団体等と連携し、所有者等に対し、適正管理や有効活用に関する支援を行い、空き家・空き地対策を推進します。また、本市条例に基づき、管理不良な空き家・空き地の所有者等に対する指導等を行います。 《目標値》 特定空家等に指定した空家等の改善率：100% 平成 31 年度当初予算：3,122 千円

#### 9 月末の 進捗状況 【○】

空き家・空き地の利活用や適正管理に関するチラシを固定資産税納税通知書に同封することで、土地・建物の所有者等に対して、情報提供を行いました。また、協定を締結した NPO 法人と連携し、所有者等に対し、適正管理や有効活用に関する情報提供などの支援を行うとともに、今後も引き続き適正管理や有効活用に関する支援や管理不良な空き家の所有者等に対する指導等を行います。